



CHAPTER 22

Cisco Unified Presence の管理ページでの 会議サーバおよびプロファイルの設定

- 「Cisco Unified Presence での会議サーバの設定方法」(P.22-1)
- 「Cisco Unified Presence での会議プロファイルの設定方法」(P.22-5)

Cisco Unified Presence での会議サーバの設定方法

- 「会議サーバの設定」(P.22-1)
- 「会議サーバの検索」(P.22-4)
- 「会議サーバの削除」(P.22-5)

会議サーバの設定

Cisco Unified Personal Communicator と統合するために、Cisco Unified Presence で 1 つまたは複数の会議サーバをプロビジョニングできます。次に、これらのサーバを会議プロファイルに追加して、Cisco MeetingPlace や Cisco WebEx などの会議サーバごとにユーザを区分できるようにします。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
会議サーバを追加する	a. [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [会議サーバ (Conferencing Server)] の順に選択します。 b. [新規追加 (Add New)] をクリックします。
会議サーバを更新する	a. 「 会議サーバの検索 」(P.22-4) の説明に従ってレコードを検索します。 b. 必要に応じてレコードを編集します。

ステップ 2 表 22-1 の説明に従って会議サーバの設定値を入力します。

表 22-1 会議サーバの設定パラメータ




フィールド	説明
名前 (Name)	会議サーバの名前を指定します。 最大文字数：128
説明 (Description)	会議サーバの一般的な説明を指定します。 最大文字数：128
ホスト名/IP アドレス (Hostname/IP Address)	会議サーバのホスト名または IP アドレスを指定します。
ポート (Port)	会議サーバに対して設定されるポート番号を指定します。 デフォルト：80
プロトコル (Protocol)	会議サーバと接続する場合に使用するプロトコルを指定します。次のいずれかの値を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • HTTP • HTTPS デフォルト：HTTP
サーバタイプ (Server Type)	統合する会議サーバを指定します。次のいずれかのタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> • MeetingPlace Classic • MeetingPlace Express • WebEx デフォルト：MeetingPlace Classic
	 <p>(注) 既存の Cisco Unified Presence サーバをアップグレードすると、デフォルトでドロップダウンリストに [未定義 (Undefined)] と表示されることがあります。ドロップダウンリストから既知の会議サーバタイプのいずれかを選択してください。会議サーバを [未定義 (Undefined)] のままにしておくと、Cisco Unified Personal Communicator の会議パフォーマンスが低下することがあります。</p>

表 22-1 会議サーバの設定パラメータ (続き)

フィールド	説明
サイト ID (Site ID)	<p>Cisco Webex サイトに割り当てられている ID 番号を入力します。Cisco Webex 製品を展開すると、Cisco Webex からお客様のサイトの ID 番号が割り当てられます。サイトの ID 番号が割り当てられない場合は、Cisco Webex の管理者に問い合せてください。</p> <p>最大文字数 : 128</p>  <p>(注) [サイト ID (Site ID)] フィールドが表示されるのは、Cisco WebEx をサーバタイプとして選択した場合だけです。</p>
パートナー ID (Partner ID)	<p>Cisco Webex サイトに割り当てられている Partner ID (PID; パートナー ID) 値を入力します。Cisco Webex サイトで Cisco Webex Application Programming Interface (API; アプリケーションプログラミング インターフェイス) を有効にすると、Cisco Webex から PID が割り当てられます。PID が割り当てられない場合は、Cisco Webex の管理者に問い合せてください。</p> <p>最大文字数 : 128</p>  <p>(注) [パートナー ID (Partner ID)] フィールドが表示されるのは、Cisco WebEx をサーバタイプとして選択した場合だけです。</p>

ステップ 3 データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。

- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
- b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

- Cisco Unified Presence のシステム トラブルシュータには、会議統合の問題とその解決策が詳細に示されています。[診断 (Diagnostics)] > [システム トラブルシュータ (System Troubleshooter)] の順に選択します。
- また、システム ダッシュボードを使用すると、Cisco Unified Personal Communicator との予定表連携統合の問題を確認することもできます。[診断 (Diagnostics)] > [システム ダッシュボード (System Dashboard)] の順に選択します。

関連項目

『*Deployment Guide for Cisco Unified Presence*』

会議サーバの検索

ネットワークに複数の会議サーバが存在する可能性があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の会議サーバを検索できます。特定の会議サーバを検索するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [会議サーバ (Conferencing Server)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 4](#) に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコードリストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

会議サーバの削除

手順

- ステップ 1** 会議サーバを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するサーバを選択します。
- ステップ 3** サーバを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<p>a. 該当するレコードをオンにします。</p> <p>b. 次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<p>a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。</p> <p>b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</p>

トラブルシューティングのヒント

会議サーバが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。

関連項目

[「会議サーバの検索」 \(P.22-4\)](#)

Cisco Unified Presence での会議プロフィールの設定方法

- [「会議プロフィールの設定」 \(P.22-5\)](#)
- [「会議プロフィールの検索」 \(P.22-7\)](#)
- [「会議プロフィールの削除」 \(P.22-8\)](#)

会議プロフィールの設定

会議プロフィール設定では、サーバ、スタンバイサーバ、プロフィールに関連付けられているユーザなど、1つまたは複数の会議サーバに関連した設定値を設定します。このウィンドウを使用して特定のプロフィールを検索し、個々の設定値を変更できます。


手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
会議プロフィールを追加する	<p>a. [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [会議プロフィール (Conferencing Profile)] の順に選択します。</p> <p>b. [新規追加 (Add New)] をクリックします。</p>
会議プロフィールを更新する	<p>a. 「会議プロフィールの検索」(P.22-7) の説明に従ってレコードを検索します。</p> <p>b. 必要に応じてレコードを編集します。</p>

ステップ 2 表 22-2 の説明に従って会議プロフィールの設定値を入力します。

表 22-2 会議プロフィールの設定パラメータ

フィールド	説明
名前 (Name)	<p>会議プロフィールの名前を指定します。</p> <p>最大文字数：128</p>
説明 (Description)	<p>会議プロフィールの一般的な説明を指定します。</p> <p>最大文字数：128</p>
プライマリ会議サーバ (Primary Conferencing Server)	<p>プライマリ会議サーバを指定します。リストボックスにある定義済みの会議サーバの中から選択できます。</p>
バックアップ会議サーバ (Backup Conferencing Server)	<p>バックアップ会議サーバを指定します。リストボックスにある定義済みの会議サーバの中から選択できます。バックアップ会議サーバは 2 つ指定できます。</p>
これをシステムのデフォルト会議プロフィールに設定します (Make this the default Conferencing Profile for the system)	<p>このプロフィールをシステムのデフォルトプロフィールにする場合にオンにします。</p> <p> (注) システムのデフォルトプロフィールにすることを選択した場合は、Cisco Unified Communications Manager から Cisco Unified Presence に同期化されたユーザがすべてこのデフォルトプロフィールに自動的に追加されます。このデフォルトプロフィールに追加されるのは、デフォルトプロフィールの選択 (および Sync Agent のアクティブ化) が終了した後で同期化されたユーザだけです。すでに Cisco Unified Presence に存在するユーザのプロフィール設定は変更されません。このため、デフォルトプロフィールの選択と設定が終了するまで Sync Agent をアクティブ化しないことを推奨します。</p>

ステップ 3 ユーザを会議プロフィールに関連付けるには、[プロフィールにユーザを追加 (Add Users to Profile)] をクリックします。

ステップ 4 データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 6](#)に進みます。

- ステップ 5** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 6** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 7** 表示されるレコードのリストから、次の操作を実行します。
- a. 会議プロフィールに追加するユーザを選択します。
 - b. [すべてを選択 (Select All)] をクリックします。
- ステップ 8** [選択項目の追加 (Add Selected)] をクリックして、会議プロフィールにユーザを追加します。
- ステップ 9** [閉じる (Close)] をクリックして、[ユーザの検索と一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウを終了します。
- ステップ 10** データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。
- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
 - b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

会議プロフィールの検索

ネットワークに複数の会議プロフィールが存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の会議プロフィールを検索できます。特定の会議プロフィールを検索するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1** [アプリケーション (Application)] > [Cisco Unified Personal Communicator] > [会議プロフィール (Conferencing Profile)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 4](#) に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
- 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。
- ステップ 5** 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコードリストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

会議プロフィールの削除

手順

- ステップ 1** 会議プロフィールを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するプロフィールを選択します。
- ステップ 3** 会議プロフィールを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<p>a. 該当するレコードをオンにします。</p> <p>b. 次のいずれかの操作を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<p>a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。</p> <p>b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。</p>

トラブルシューティングのヒント

会議プロフィールが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。

関連項目

[「会議プロフィールの検索」 \(P.22-7\)](#)